

令和元年度11月号 [11月18日(発行)]



# 東風だより

川口市立東中学校  
川口市東本郷2-20-47番地  
TEL 048-281-4065  
特別支援学級 285-2423  
さわやか相談室 281-4627  
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

## 避難所開設

校長 安部正幸

令和元年10月12日(土)台風19号が接近し、今後関東地方を直撃する恐れが確実に増えてきた午前11時、川口市防災課より市内全小中学校と高等学校に対して避難所開設の指示が出ました。東中学校はその立地条件から水害時の避難所としての指定を受けています。そのため、前日には全職員に対して避難所になる可能性が高いことを伝えておきました。当日、教頭は朝から学校に待機し、私もいつでも学校へ行けるよう荷物を車に積んで自宅待機していました。その後、指示を受けて早速学校に駆けつけ、市の担当職員3名も到着したところで、正午までには避難所開設の準備を整えることができました。

### 162名の方が避難

当日、最終的には162名の方が東中学校の体育館に避難してきました。その中には、本校の生徒や保護者の方もいました。備蓄米を夕食として出すために配膳をしていたところ、生徒と保護者の方が一緒に手伝ってくれました。また、一般の方の中からも、「何かお手伝いすることはありませんか?」と声をかけてくださり、受付業務を手伝ってくれた方もいました。学校としてはたいへんありがたいことでした。当日は、夜間に避難してくる人のことも考えて、本校教員が翌朝まで昇降口に待機しました。翌日は台風が去り天気も回復して、皆さんが帰られた後、片づけを行い正午に避難所を閉鎖しました。

### 地域や近所の結びつきの大切さ

本校が避難所となった場合、その責任者は校長ではなく自治会の代表者となります。本校では関根和雄赤井町会長さんが本部長となります。関根町会長さんは、本校の避難所開設の連絡を受け、早速担当者の人たちと本校に駆けつけてくださいました。話によれば、公民館など他の避難所も回っているとのこと。地域住民のために力をそそいでいる自治会の皆さんの苦勞が伝わってきました。テレビなどでもアナウンサーが「隣近所、声を掛け合って避難してください。」と言っているのを良く耳にしました。このようなとき、やはり一人や一家族では不安になります。近所付き合いや地域の結びつきの大切さを、改めて実感した一日でした。また、地域のために尽力している自治会の方の中には高齢の方もいました。風雨の中で、濡れながら活動しているそのような姿を見て、やはりもっと若い世代が活躍しなければとも思いました。

今回、川口市では荒川や芝川の大きな氾濫もなく、それほど多くの被害も出さずに済みました。私も、避難してきた方々が何事もなく帰宅されたときにはほっとしました。しかし、後に長野県の千曲川が、台風が去った後に氾濫して流域住民に甚大な被害が及んだニュースを見ました。あの日、本校に避難してきた皆さんが、早朝の段階で帰宅したのが本当に正しかったのか。検証すべき課題も残ったと感じているところです。